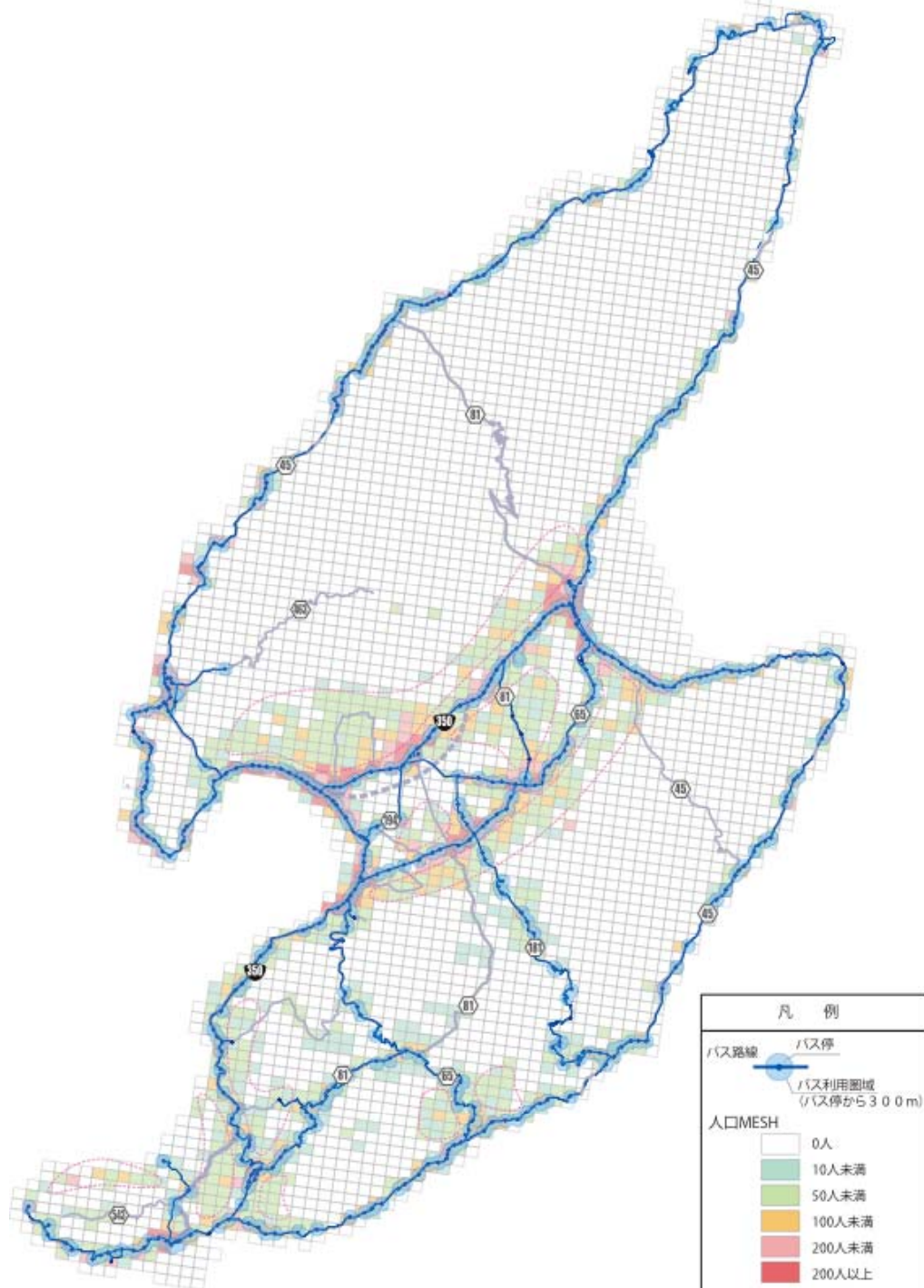


自家用有償旅客運送の現況等 移動制約者等を取り巻く状況

1. 公共交通の現状
2. 移動制約者等の状況
3. 福祉タクシーに関する支援
4. タクシーの利用に関するアンケート調査結果



(1)バスの利用圏域(左図)

- ・市内を500mに区切ったメッシュ人口
- ・利用圏域(バス停から300mの範囲)

○国県道沿線の地域はバス路線が網羅

○70歳以上高齢者の外出支援策として1乗車200円となる運賃割引サービスを実施。

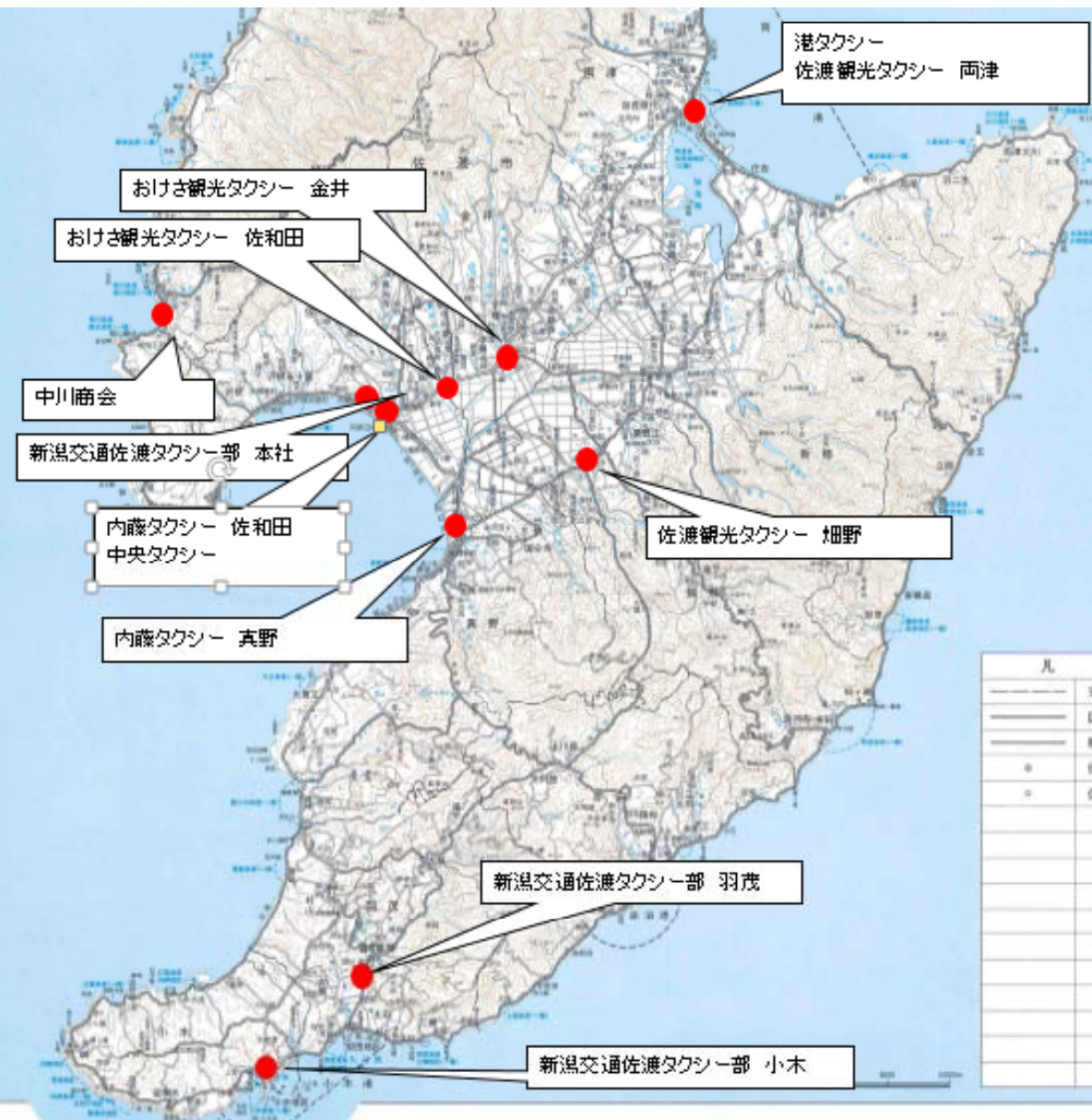
※H26まで75歳以上が対象、H27から対象年齢を拡大。

○両津・相川地区の海岸線沿いはバスの利用圏域としてほぼカバーされている。

○佐和田、金井等の国道350号の北側、及び国中平野に交通空白域が存在する。

○南部、特に赤泊地区の県道・両津真野赤泊線の山あいには交通空白域が存在する。

1. 公共交通の現状



(2) タクシーの現状 (左図)

・市内タクシー営業所の配置

○タクシー車両台数は71台

○福祉タクシーは5台

○福祉タクシー限定事業者の福祉タクシーは10台

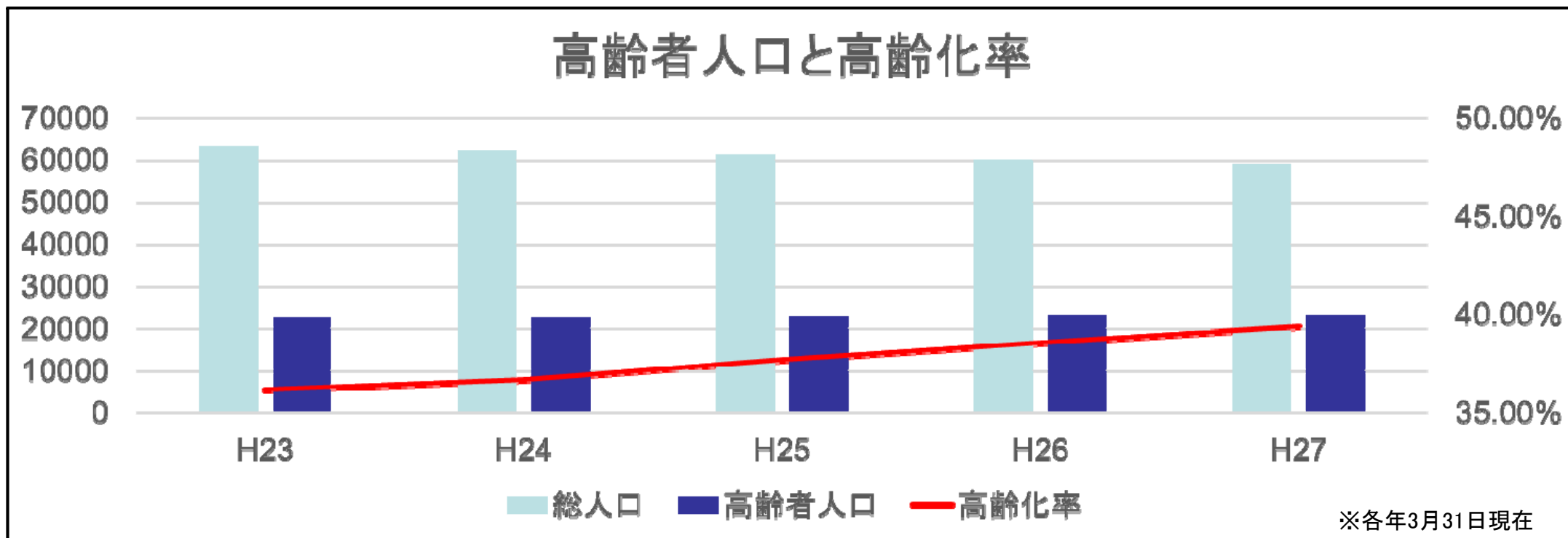
○両津・相川地区の北側と両津南側から赤泊までの前浜地区には営業所が無い

2. 移動制約者等の状況

(1) 高齢者の状況(高齢者人口)

○平成27年3月31日現在の総人口は59,060人、うち65歳以上高齢者は23,267人となっている。

○高齢化率は39.4%(H27)と年々上昇している



(2) 高齢者の状況(要介護等認定者数)

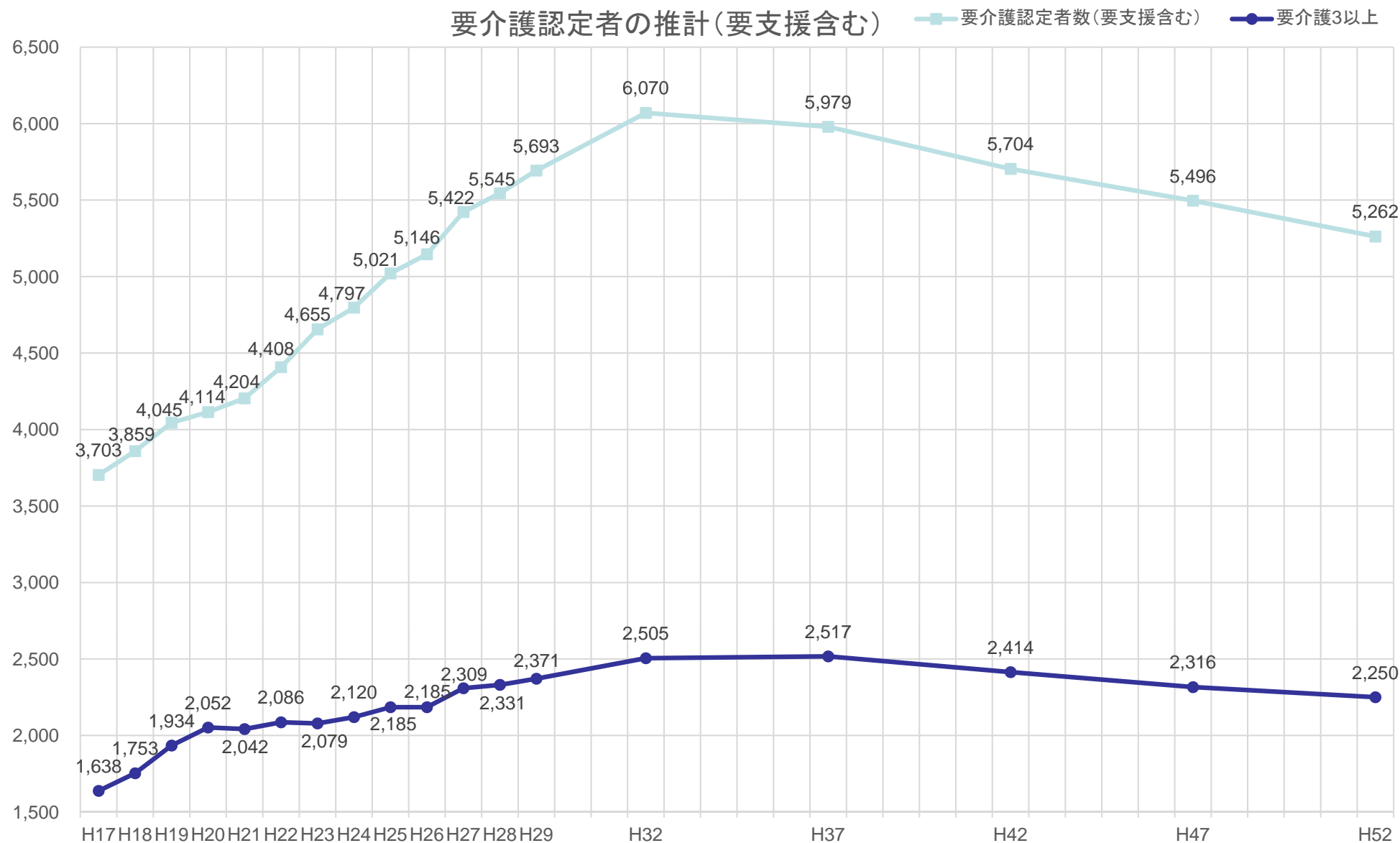
○平成27年3月31日の要介護認定者数は4,132人、要支援者数は1,058人となっている。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
397	661	1,066	862	672	681	851	5,190

2. 移動制約者等の状況

(3) 介護等認定者数の推移

○平成32年頃がピークとなりその後、減少する推計となっている。



※H26までの基準日は3月31日、H27以降の基準日は9月30日

2. 移動制約者等の状況

資料No.2

(4)高齢者の状況(高齢者世帯)

○国勢調査(H22)では高齢者のいる世帯は一般世帯の62.6%を占め、国を約25ポイント、県を15ポイント上回る。

○H17調査からの増減率を見ると一人暮らし世帯が7.2%増と、最も要援護性の高い世帯類型が伸びている。

区分	平成17年調査		平成22年調査		H17⇒H22 増減率	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比		
佐渡市	一般世帯数	24,559	-	23,709	-	-3.5%
	高齢者のいる世帯	15,249	62.1%	14,849	62.6%	-2.6%
	一人暮らし世帯	3,209	21.0%	3,440	23.2%	7.2%
	高齢夫婦世帯	3,722	24.4%	3,674	24.7%	-1.3%
新潟県	一般世帯数	812,726	-	837,387	-	3.0%
	高齢者のいる世帯	375,341	46.2%	398,544	47.6%	6.2%
	一人暮らし世帯	53,379	14.2%	65,027	16.3%	21.8%
	高齢夫婦世帯	72,989	19.4%	82,932	20.8%	13.6%
国	一般世帯数	49,062,530	-	51,842,307	-	5.7%
	高齢者のいる世帯	17,204,473	35.1%	19,337,687	37.3%	12.4%
	一人暮らし世帯	3,864,778	22.5%	4,790,768	24.8%	24.0%
	高齢夫婦世帯	4,777,008	27.8%	5,250,952	27.2%	9.9%

※「高齢者のいる世帯」は「一般世帯数」に対する構成比、「一人暮らし世帯」及び「高齢夫婦世帯」は「高齢者のいる世帯」に対する構成比を掲載

2. 移動制約者等の状況

(4)障がい者の状況(障がい者数)

○平成26年4月1日における身体・知的・精神の手帳所持者は合計で4,440人となっている。

総人口	身体障がい者数 (構成比)	知的障がい者数 (構成比)	精神障がい者数 (構成比)
60,196	3,411人(5.7%)	546人(0.9%)	483人(0.8%)
			825人(1.4%)※

※精神障がいの手帳所持者数は483人だが、手帳を所持せず精神通院医療を受診するものを含めると825人となっている。

等級	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体不自由	内部障がい	総数
1級	57	-	-	426	454	937
2級	63	74	-	354	6	497
3級	20	76	19	520	90	725
4級	15	53	14	542	107	731
5級	18	-	-	173	-	191
6級	18	225	-	87	-	330
合計	191	428	33	2,102	657	3,411

(5)難病患者の状況

平成25年度特定疾患医療受給者証所持者数 475人

3. 福祉タクシーに関する支援

資料No.2

担当部署	社会福祉課障がい福祉係		高齢福祉課高齢福祉係			
事業名	佐渡市心身障がい者福祉タクシー券		外出支援サービス			
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳1級・2級 ・身体障害者手帳3級該当者のうち 下肢または体幹不自由者 ・療育手帳(知的障がい者)A ・精神障害者保健福祉手帳1級 		※以下の対象がリフト付きタクシー等を利用した場合 <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳1級・2級(下肢・体幹不自由) ・要介護4又は5の認定を受けた寝たきりまたは、 車いす等でないと移動が困難な方 (病院又は介護施設等を発着地とした輸送のみ) 			
助成内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券(500円券36枚)を交付 ・1度の乗車で最高6枚まで利用可能 ※H26年度より額・枚数改定		<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券(年間最大24枚)を交付。 ・1度の乗車につき、1枚まで利用可能 			
	乗車料	手帳提示後 (1割引)	利用券提出後の 利用者負担額	利用金額	助成率	
					課税世帯	非課税世帯
	1,000円	900円	900円－500円 (1枚)=400円	6,000円以下	35%	40%
	1,500円	1,350円	1,350円－1,000円 (2枚)=350円	6,001円～8,000円	50%	55%
	2,000円	1,800円	1,800円－1,500円 (3枚)=300円	8,001円～10,000円	60%	65%
	2,500円	2,250円	2,250円－2,000円 (4枚)=250円	10001円～14,000円	65%	70%
	3,000円	2,700円	2,700円－2,500円 (5枚)=200円	14,001円以上	70%	75%
3,500円	3,150円	3,150円－3,000円 (6枚)=150円	助成限度額	11,300円	12,100円	

3. 福祉タクシーに関する支援

資料No.2

外出支援の利用状況

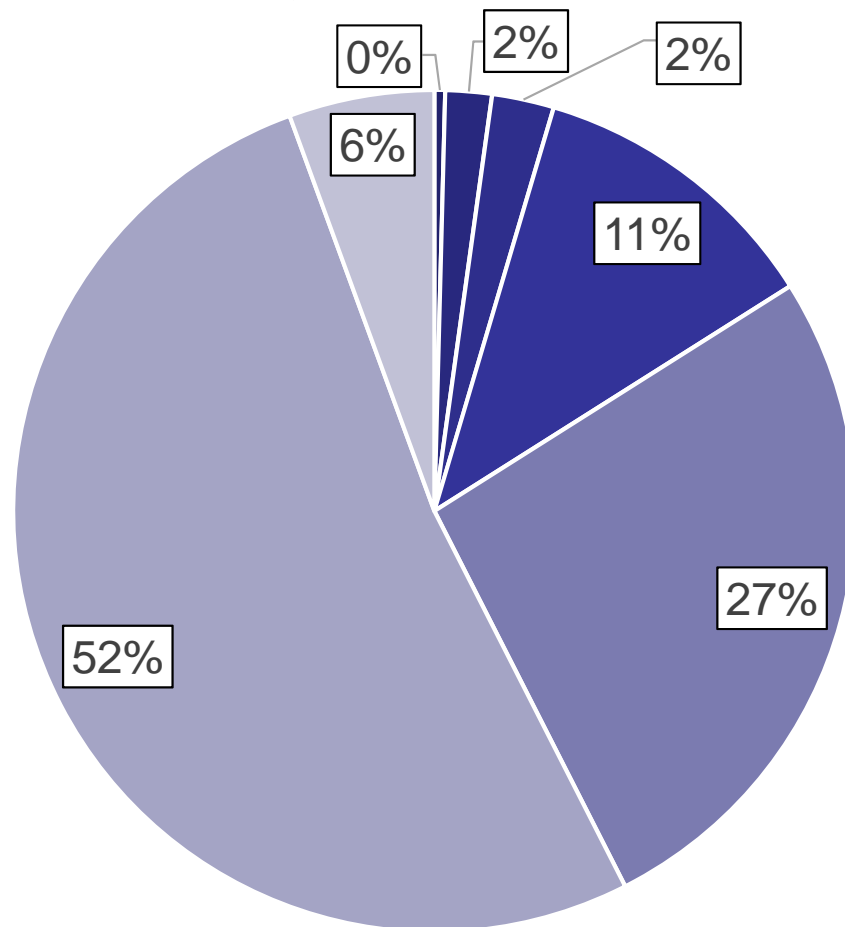
	佐渡市心身障がい者福祉タクシー券		外出支援サービス	
H24 年度実績	利用枚数 交付件数 助成額 (580円券30枚)	14,683枚 757件 8,904,640円	利用件数 のべ利用者数 実利者数 助成額	3,702件 1,780人 568人 6,557,700円
H25 年度実績	利用枚数 交付件数 助成額 (580円券30枚)	14,481枚 785件 8,759,980円	利用件数 のべ利用者数 実利者数 助成額	3,987件 1,836人 590人 6,632,700円
H26 年度実績	利用枚数 交付件数 助成額 (500円券36枚)	17,626枚 779件 9,195,200円	利用件数 のべ利用者数 実利者数 助成額	4,129件 1,882人 542人 6,771,800円
地区別 交付件数 H26実績	全779件		全1,057件	
	<ul style="list-style-type: none"> ・両 津:233件 ・佐和田:112件 ・新 穂:53件 ・真 野:58件 ・羽 茂:24件 		<ul style="list-style-type: none"> ・相 川:89件 ・金 井:108件 ・畑 野:61件 ・小 木:26件 ・赤 泊:15件 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・相 川:139件 ・金 井:90件 ・畑 野:64件 ・小 木:71件 ・赤 泊:55件 			

○調査概要

実施期間：平成27年3月18日(水)～31日(火)

配布回収：市内在住の18歳以上の市民から4,083人に郵送で配布、2,183通を回収(回収率53.5%)

タクシーの利用頻度



・「利用したことがない」と回答した方が52%

・タクシー利用目的については以下のとおり
 約半数が「通院」
 約1/4が「飲酒時の利用」
 約1/4が「佐渡汽船利用の際」

- 週に1日以上
- 月に2日～3日
- 月に1日
- 年に数回
- ほとんど利用しない
- 利用したことがない
- 無回答

4. タクシーの利用に関するアンケート調査結果

○タクシーを利用しない理由

- ・「タクシー会社が遠い」ことを理由にした方は、赤泊地区において多い
- ・相川B地区では「自分で運転」が少なく、「歩いて行ける範囲で用事を済ませる」が多い

